

## スズメバチの巣の駆除について

町では、住民の皆さんに危害を及ぼすおそれのあるスズメバチの巣の駆除を行っています。駆除の対象となるスズメバチのご近所の場合は、役場 環境保全課 ☎096(293)3113 までご連絡ください。

### 駆除の対象

スズメバチの巣のうち  
 ・住宅（外壁・軒下・天井裏）や納屋、庭木等に出来た巣  
 ※アシナガバチやミツバチは対象外です。  
 ※個人の所有する土地、建築物が対象になります。事業所に巣ができていない場合は、対象外となります。

### 注意事項

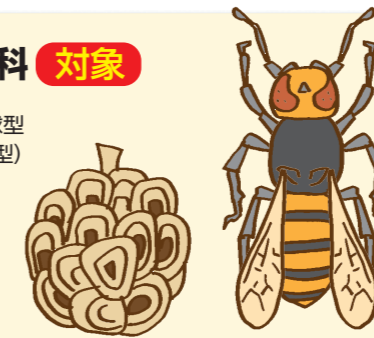
対象の場合は、町から駆除業者に連絡し、駆除・調査を行います。なお、対象外の場合や、個人で先に駆除を行った場合は、町が駆除費用を負担することはできませんのでご注意ください。



### スズメバチの見分け方

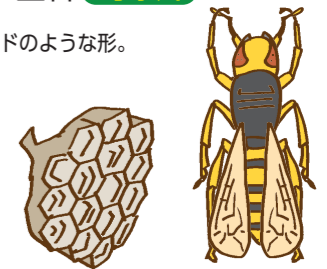
#### スズメバチ亜科 対象

巣はマーブル模様の球型（作成途中はとっくり型）



#### アシナガバチ亜科 対象外

巣はシャワーヘッドのような形。



●問い合わせ

役場人権推進課 人権推進係

☎096(293)0863

4月18日、町生涯学習センターで「菊池東部水平社創立100周年記念集会」が開催されました。



1922（大正11）年3月3日、京都の岡崎公会堂で部落差別をなくすために全国水平社が創立されました。本集會では、創立の場で採択された「水平社宣言」や、その後全国へ広がった部落解放運動について、県人権教育研究協議会副会長村上秋成さんによる講演が行われました。

村上さんは、「自らのルーツに誇りを持ち、当事者自身が声を上げ、団結と連帯を大切に人間の尊厳と誇りに立脚して、あらゆる差別の克服を目指す」という水平社宣言の理念が、多くの被差別マイノリティの人々に勇気と自信を与えたことを紹介しました。また、「水平社宣言」が提起した「人間は尊敬すべきもの」はその後のさまざまな運動に影響を与え、義務教育における教科書無償化の実現や、憲法第14条に定められた「差別されない権利」へとつながっていったことにも触れました。

全国水平社の運動は県内にも広がり、1923年9月24日には、当時の大津町の劇場「寶座」で菊池東部水平社が結成されました。今回の創立100周年記念集會では、菊池都市の各地から、これまでの差別の実態や、差別をなくすための学習・取り組み、くらしをよくする活動などの報告も行われました。そこには、差別の現実と向き合いながらも、人として心豊かに生きるための出会いや日々の営みが積み重ねられてきた歴史がありました。

参加者にとって、差別のない平和で誰もが尊厳をもって生きられる、熱と光のある社会の実現を改めて願う、意義深い記念集會となりました。

## 子どもの約4割に歯ぐきのサイン!? 見逃さないで!“歯肉炎”

むし歯は気にしているけど、歯ぐきは見ていますか？  
 実は今、子どもの“歯肉炎”が増えています。むし歯がない＝安心ではありません！

### なぜ増えているの？

- ・みがきのこし（ブランク）
- ・ホルモンバランスの変化（思春期）
- ・口呼吸（お口ぼかん）



特に口呼吸は要注意！  
 口の中が渇き、細菌が増えやすくなります！



### 今日からできる予防

#### はみがき

- ・歯と歯ぐきの境目を磨こう
- ・歯の裏、溝を磨こう
- ・鏡を見ながら磨こう
- ・仕上げみがきをしよう
- ・歯ブラシは月1交換



#### 生活習慣の見直し

- ・早寝・早起き
- ・バランスの良い食事
- ・鼻呼吸
- ・歯医者の定期健診



歯は、身体の中で“予防できる”大切な場所です。歯だけでなく、歯ぐきもチェックする習慣をつけましょう！

今日からできることはじめてみよう！



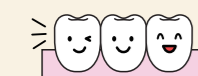
### こんなサインありませんか？

※1つでも当てはまったら要注意！

#### 歯肉炎チェック

《健康な状態》

《歯肉炎かも》



- 薄いピンク色
- 三角形に見える
- 引き締まっています

- 赤っぽい色
- 丸みがあってプヨプヨしている
- 歯と歯ぐきの間に汚れがある



子育てイベント情報チラシで最新情報をゲットしよう！



### 子育てカフェ（月1回、無料・要予約）

保健師や保育士などが対応します。気軽にお越しください！

日時 6月25日（木）  
 午前10時～午後3時30分

場所 オークスプラザ（集會室）

協力 NPO 法人ペアレントネットワーク

申込 電話または二次元コード



役場子育て支援課 ☎096(293)5981

Savannah Studio Vol.11  
 サバナ スタジオ  
 CIR(国際交流員) サバナ・エリス

国際交流員のサバナが「アート」を通してアメリカの文化などを紹介する「Savannah's Studio」。第11回となる今回は、アメリカの竜巻についてご紹介いたします。

日本では6月は梅雨の季節として知られていますが、ネブラスカ州では5月と6月は「竜巻の季節」として知られ、アメリカ合衆国中部にある他の多くの州とともに「トルネード・アレー（竜巻街道）」と呼ばれています。これらの地域は、1年間に最も多くの竜巻が発生することで知られています。

竜巻はいつでも発生する可能性があります。午後4時から9時の間に起こることが一般的です。竜巻は、北からの冷たい空気と南からの暖かい空気がぶつかることで発生します。最も弱い竜巻では風速が時速116kmほどですが、最も強いものでは時速500kmを超えることもあります。ただし、時速270kmを超えるような非常に強い風は、極めてまれなケースです。

竜巻が発生するため、ネブラスカ州のほとんどの家には地下室があり、裏庭には避難用の貯蔵庫（シェルター）があります。日本の建物が地震を意識して建てられているように、「トルネード・アレー」にある建物は竜巻を意識して建てられています。以前ほど怖くはなくなりましたが、それでも竜巻警報が出ると今でも緊張します。

梅雨の時期も安全にお過ごしください。

激しい風が、竜巻を非常に危険なものにしています。